

# 熊本地震から3年 被災者に寄り添った支援を！

## 3月末で仮設住宅入居者は4017世帯

仮設住宅入居世帯（みなし含む）は、今年3月末で4,017世帯です。内訳は、①自宅再建 1,641世帯 ②民間賃貸 1,648世帯 ③公営住宅 728世帯

仮設入居の期限は迫っているにもかかわらず、住いの再建に困難を抱える世帯も少なくありません。日本共産党市議団へも、具体的な相談が寄せられています。

## 在宅被災者も含め、被災世帯の状況把握と丁寧な支援を

もう一つは、仮設住宅入居者だけでなく、支援が届きにくい在宅被災者の状況をきちんとつかむことも必要です。

国の支援金があまりにも少ないために、特に高齢世帯や低所得

## 早々に打ち切られた医療費減免の復活を！

長期化している仮設での生活、住いの再建に多くの困難を抱える被災者の健康維持のために、一


世帯はより多くの困難を抱えていると思われます。

各被災世帯の実情を詳しく把握し、それぞれに必要な支援を検討し、提供していくことが必要です。

昨年9月で打ち切りとなった医療費減免を速やかに復活し、適切な医療を提供することも必要です。

**日本共産党 市議会だより**  
 熊本市中央区手取本町1-1 3階  
 発行：日本共産党熊本市議団  
 上野みえこ なすまどか 山部ひろし

NO. 1138  
 2019年4月28日号  
 電話 328-2656  
 FAX 359-5047  
 メール：kumamsu@gamma.ocn.ne.jp  
 HP：共産党 熊本市議団



検索



## 臨時議会が開かれます

5月15日(水)午前10時より  
市役所議会棟・本会議場



新たなメンバーによる議会がスタートします。最初の議会となる臨時議会では、議長・副議長の選挙が行われ、常任委員会・特別委員会の構成が決まり、それぞれの委員長・副委員長の選挙も行われます。監査委員の選任等もあります。

\*議場での傍聴ができます。  
インターネットでの中継もあります。(熊本市役所HP)

**【控え室から】  
学費の心配なく学べる社会へ**

なすまどか

一昨年の市議会一般質問で私は、学生が置かれている学費の負担に悩んでいる実態を示しながら、「給付型の奨学金制度(返す必要のない奨学金制度)を市独自につくるべきではないか」と市に問いかけました。

貧困と格差が広がり家計収入が減少する中で、学生や保護者の負担も限界を超え、進学を断念する人も少なくありません。ようやく入学しても在学中は、授業時間をバイトに充てざるを得ないなど深刻な実態が広がっています。

いまや学生の2人に1人が奨学金を借りなければならず、返済が必要な貸与型を借りた場合、卒業後の返済額は1人平均約300万円に上ります。雇用と収入が不安定で奨学金を返済できない人が増えるとともに、サラ金並みの厳しい取り立てが若者を追い詰めています。

一昨年の質問から、約1年。今年3月に、再び「給付型の奨学金制度の実現を」と大西市長に迫り、「任期中に実現したい」との答弁を引き出すことができました。

私自身も学生時代は、半年休学し、バイトに明けくれば学費と生活費を貯め、復学するという経験をしたことがあります。

「受益者負担」という考えで、教育をまるでサービスのよりに考える社会は間違っています。学ぶことで人が育ち、その受益を受けるのは社会全体です。学費の無償化や給付型の奨学金制度の早期実現に向け、頑張る決意です。



# 安心して住み続けられる災害公営住宅へ

## 326 戸の災害公営住宅、今年度中にすべてが完成予定

## 入居者への見守り・相談等の支援が必要

(地域)	(団地名)	(戸数)	(竣工予定)	(入居)
南区城南町	塚原第 2 団地	20 戸	2019 年 1 月	3 月入居
南区城南町	舞原第 1 団地	19 戸	2019 年 3 月	5 月入居
南区城南町	舞原第 2 団地	60 戸	2019 年 3 月	5 月入居
中央区大江	大江第 2 団地	19 戸	2019 年 5 月	
東区秋津	秋津第 2 団地	36 戸	2019 年 8 月	
南区白藤	白藤団地	76 戸	2019 年 8 月	
中央区南熊本	南熊本第 2 団地	80 戸	2019 年 11 月	
南区城南町	舞原第 3 団地	16 戸	2019 年 12 月	

災害公営住宅は、市内に 8 団地が建設予定です。現在 3 カ所がすでに完成し、落成式を終えています。今後、順次建設がすすみ、今年 12 月までにはすべてが竣工し、今年度中には入居も完了する予定です。

入居者は、すでにすべてが決定しています。

すでに竣工した南区城南町の 3 つの団地は、2 階建の低層住宅が 2 カ所、4 階建が 1 カ所です。それぞれ土地の条件を生かし建設されています。



室内は、使いやすく工夫されています。

各団地には集会所があります。コミュニティの拠点として活用されなければなりません。

仮設住宅に対しては、保健師の訪問や仮設団地毎に社会福祉協議会による相談員等が配置されてきました。災害公営住宅においても、入居者の孤立化を防ぎ、さまざまな不安に对应していくためにも、相談員等を引き続き配置することが求められます。

### 被災者支援として災害公営住宅の家賃負担の軽減を

被災者への生活再建支援として、東日本大震災では災害公営住宅に入居する世帯に対し、家賃負担の軽減が実施されてきました。「災害公営住宅家賃低廉化事業」



東日本大震災では、被災者支援総合交付金のメニューである「被災者見守り・相談支援事業」による相談員の配置が行われています。熊本でもこのような支援が必要です。

等、国の補助メニューを活用したものです。

様々な困難を抱える被災者に対する安定した住居の確保を支援するものとして、是非熊本でも実施の検討が求められます。

.....

熊本地震の発生から 3 年を経て、支援は縮小の方向ですが、一人一人の被災者が震災前の生活を取り戻すためには、引き続き支援が重要です。